

第5回徳島市男女共同参画推進ネットワーク 議事録（要旨）

日 時 令和6年2月15日（木）15：40～16：00
時 間 ホテル千秋閣 7階 鳳の間
出席者 17名（委員13名、事務局4名）

- 1 開会
- 2 新委員紹介
- 3 議題
 - （1）令和5年度事業の取組状況について
 - （2）令和6年度事業（案）について
 - （3）意見交換
- 4 その他
- 5 閉会

（意見交換での主な意見）

A 委員：徳島市では今年度についてもアンコンシャスバイアス関係の事業に力を入れている。教育の場において、教師によるアンコンシャスバイアスに基づいた発言が問題となる事例も耳にすることから、今度も取組を強化していきたい。行政だけでは画一的な考えで企画してしまうことがあるので、事業の実施方法について新たな意見やアイデアを求めたい。

B 委員：ジェンダーギャップの解消に向けて、アンコンシャスバイアスをテーマにした授業を、子どもや保護者、教員に向けて継続して実施し、発信していくことが大切だと感じる。

C 委員：今後小中学生を対象に、外国人を交えた国際的な交流の機会を設けることで、より幅広い考え方や多様な視点が身に付くのではないか。

- D 委員**：アンコンシャスバイアスの解消に向けて、シニアの意識改革が必要だと感じた。
また、地域のコミュニティでジェンダーギャップに関する話をしたり、多様な団体と協働でセミナー等を開催したりすることにより、市民へ男女共同参画について知ってもらえる良い機会となると思う。
- E 委員**：シニアの男性だけではなく、シニアの女性にも強いアンコンシャスバイアスが存在している。集団の中でも、世代や考え方の違いから摩擦が生じることもあるため、シニア女性に向けての啓発も重要だと感じる。
- F 委員**：同じ世代の方とばかり話をしていると、価値観が固定化されてしまうため、若い感性に触れる機会が大事。
- G 委員**：会社のトップはまだまだ男性が多いため、そのような経営者層に向けたセミナー等を実施し、意識改革を図る必要があると感じる。また、ジェンダーギャップの解消に向けて、女性の活躍も大切であると思う。
- H 委員**：ワークショップの開催日が平日の日中ということもあり、情報発信している割には申込みにつながっていない。休日に開催すれば、もう少し参加しやすいのではないか。